

# 全体的質疑

## 大阪鉄道病院の福利厚生

### 制度の充実を

蒲委員（本社総支部）



●のぞみ34号重大インシデントについては、真摯に反省し、重く受け止めなければならぬ。経営幹部から「今回の事

象は、仕組みや組織に関わるものであり、社員が責められるべきものでない」とのメッセージが出た。今回の一件は全て会社が悪い

●毎日非常に高い緊張感の中、患者の命と向かい合っている、大阪鉄道病院に働く仲間、光をあてるべく、夜間看護等手当の増額、帰省等交通費の増額、さらなる福利厚生制度の充実をお願いしたい。

●昨年12月末時点で、本社総支部所属で、360時間超が117名、内半数以上が昨年同様、時間外労働を年間400時間以上行っている。やはり「業務量削減」「業務を止める決断」を考

●また、最近業務負担や責任を起因とするメンタル不調者が増加傾向にある。

象とした会社主導のディスプレイを実施すべきである。

入社6年目を目安に本社に配属されることが通例だが、最近2年程度で本社の中核部署に配属されるな

ど、無理な人事運用が目につく。中央本部のメンタル不調者に対する対応について見解を伺いたい。

## 新幹線組織も見直しを

田中委員（福岡地本）



●新幹線インシデント発生後、来島社長自ら先頭に立ち、鉄道の信頼回復に向けて難局を乗り越えていく覚悟を示された。

●私達は、福知山線列車事故の教訓を、決して忘れたわけではなく、「安全最優先の風土を作り上げる」という思いを持ちながら、業務に従事してきたが、システムで守られている新幹線は大丈夫という神話があったのかもしれない。

●現在、台車枠を非破壊検査による超音波探傷、フアイバースコープによる台車

●内部的には、人工知能、AI、IoTなどの技術革新が急速に進んでおり、とくに、自動運転は2023

●社会的には、人工知能、AI、IoTなどの技術革新が急速に進んでおり、とくに、自動運転は2023

●社会的には、人工知能、AI、IoTなどの技術革新が急速に進んでおり、とくに、自動運転は2023

●社会的には、人工知能、AI、IoTなどの技術革新が急速に進んでおり、とくに、自動運転は2023

## 作業責任者が自覚の持てる手当の増額を

柿本委員（広島地本）



●1月21日に、山陽線幡生駅構内において、き電線がいし取替作業中に、線閉区

●1月21日に、山陽線幡生駅構内において、き電線がいし取替作業中に、線閉区

●1月21日に、山陽線幡生駅構内において、き電線がいし取替作業中に、線閉区

●1月21日に、山陽線幡生駅構内において、き電線がいし取替作業中に、線閉区

## 中間答弁

### 我々の思いを乗せた考動計画

福本業務部長



●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

●北陸新幹線の支援の中で、将来ビジョンが見えないという声がある。鉄道の安全は、長期雇用が前提で成り立っている。ピジョンは大切である。

## 重大インシデントについて

●安全について、検証アンケートを実施し、拡大安全対策委員会等で、みなさんの意見を聞きながら、「JR西日本グループ安全考動計画2022」を策定した。計画に我々の思いを乗せ

